

自分らしさ誇る成人式

性的生きづらさ抱える人たちを祝福

振り袖姿で華やか成人式。一方で、好きな服を着て暗い目を迎えることができない人たちがいる。そういう人たちのための一成人式「Re:Bit」成人式が、19日、東京都世田谷区内の学校で行われた。

【早稲田大・厚泰津葉】

早稲田大の学生団体「Re:Bit」主催

「LGBTとは、レズビアンやバイセクシュアル(両性愛者)、トランスジェンダー、性同一性障害など体の性別が自分自身と異なる人が誰にも相対して存在する」という定義を掲げ、LGBT成人式を主催する学生団体「Re:Bit」が主催する成人式が、19日、東京都世田谷区内の学校で行われた。



LGBT成人式で壇上に立ち自らの体験を述べる共同代表の山下さん(右から2人目)。東京都区内の学校で、早稲田大・最良児撮影

体験語り合う

こうして人々にも成人式に参加してもらおうと、早稲田大学公認の学生団体「Re:Bit」が主催する成人式が、19日、東京都世田谷区内の学校で行われた。今年で3回目を迎える。多くの人へのまのまの自分をもっと好きになさなきゃいけない、という思いが、参加者には年々強まっている。自分自身も、自分と異なる人が誰にも相対して存在する、という思いが、参加者には年々強まっている。自分自身も、自分と異なる人が誰にも相対して存在する、という思いが、参加者には年々強まっている。

苦しむ中高生に励まし

中高時代に自分のセクシュアリティに突き進む。悩みを抱える人は少なくないという。GID(性別同一性障害)学会だ。「学校や学校が所属する場所が、それが自分の全てだから誰にも打ち明けられなかったし、死にたいと思ったこともあった」と語る。山下さんも下平さんも、大学生になってからは、自分自身を肯定して生きていくことを目指している。山下さんも下平さんも、大学生になってからは、自分自身を肯定して生きていくことを目指している。

中高生の頃に同性愛感情を持ち始める時期、多々の問題が発生する」と指摘する。中高生の頃に同性愛感情を持ち始める時期、多々の問題が発生する」と指摘する。

苦しみつづける中高生

「学校や学校が所属する場所が、それが自分の全てだから誰にも打ち明けられなかったし、死にたいと思ったこともあった」と語る。山下さんも下平さんも、大学生になってからは、自分自身を肯定して生きていくことを目指している。山下さんも下平さんも、大学生になってからは、自分自身を肯定して生きていくことを目指している。

中高生の頃に同性愛感情を持ち始める時期、多々の問題が発生する」と指摘する。中高生の頃に同性愛感情を持ち始める時期、多々の問題が発生する」と指摘する。

め、1歳から60歳代までの参加者がいるという。今回の式典には約170人が参加。ファッションはさまざま。詰め襟を着た中高生や40歳代の姿も見受けられた。式典ではまず、保坂麗人世田谷区民らが祝辞を述べた。今回初めて参加した1人、藤原2年目の堀田直輝さん(24)は「自分は、体の性別が女性で心の性別が男性の世間一性偏見、高校生以上の頃から女性という自分の違和感があったが、20歳の時初めて参加して、自分自身も、自分と異なる人が誰にも相対して存在する、という思いが、参加者には年々強まっている。自分自身も、自分と異なる人が誰にも相対して存在する、という思いが、参加者には年々強まっている。」

社会の前進願

「Re:Bit」が発足したのは09年。現在は10人のメンバーで運営を行っている。Re:Bitは「自分自身も、自分と異なる人が誰にも相対して存在する、という思いが、参加者には年々強まっている。自分自身も、自分と異なる人が誰にも相対して存在する、という思いが、参加者には年々強まっている。」

「自分自身も、自分と異なる人が誰にも相対して存在する、という思いが、参加者には年々強まっている。自分自身も、自分と異なる人が誰にも相対して存在する、という思いが、参加者には年々強まっている。」

苦しみつづける中高生

「学校や学校が所属する場所が、それが自分の全てだから誰にも打ち明けられなかったし、死にたいと思ったこともあった」と語る。山下さんも下平さんも、大学生になってからは、自分自身を肯定して生きていくことを目指している。山下さんも下平さんも、大学生になってからは、自分自身を肯定して生きていくことを目指している。

中高生の頃に同性愛感情を持ち始める時期、多々の問題が発生する」と指摘する。中高生の頃に同性愛感情を持ち始める時期、多々の問題が発生する」と指摘する。

「自分自身も、自分と異なる人が誰にも相対して存在する、という思いが、参加者には年々強まっている。自分自身も、自分と異なる人が誰にも相対して存在する、という思いが、参加者には年々強まっている。」

「自分自身も、自分と異なる人が誰にも相対して存在する、という思いが、参加者には年々強まっている。自分自身も、自分と異なる人が誰にも相対して存在する、という思いが、参加者には年々強まっている。」

「自分自身も、自分と異なる人が誰にも相対して存在する、という思いが、参加者には年々強まっている。自分自身も、自分と異なる人が誰にも相対して存在する、という思いが、参加者には年々強まっている。」

苦しみつづける中高生

「学校や学校が所属する場所が、それが自分の全てだから誰にも打ち明けられなかったし、死にたいと思ったこともあった」と語る。山下さんも下平さんも、大学生になってからは、自分自身を肯定して生きていくことを目指している。山下さんも下平さんも、大学生になってからは、自分自身を肯定して生きていくことを目指している。

中高生の頃に同性愛感情を持ち始める時期、多々の問題が発生する」と指摘する。中高生の頃に同性愛感情を持ち始める時期、多々の問題が発生する」と指摘する。